

国立大学法人室蘭工業大学 令和元年度契約監視委員会 議事概要

1. 日時：令和2年1月14日（火）11：00～12：00

2. 場所：室蘭工業大学 本部棟小会議室

3. 出席者

（委員）

委員長 増江 亜佐緒（国立大学法人室蘭工業大学 監事）

委員 岸浪 建史（国立大学法人室蘭工業大学 監事）

委員 安藤 俊典（安藤公認会計士事務所 公認会計士）

（説明者）

経理課長、経理課副課長、調達係長

（記録者・進行役）

監査室長

4. 審議事項

審議事項1 競争性のない随意契約における契約事由の妥当性について

審議事項2 競争入札のうち一者応札であった入札の競争性確保の妥当性について

5. 審議対象

例年当委員会の審議対象契約案件は、契約金額が500万円以上の契約の中から委員長が選定しているが、「随意契約」の契約実績は、すでに業者と契約しているものに対して増設、移行、バージョンアップ等を行うもので、契約相手方の正当性について審議の余地がないため、審議対象を契約金額300万円～500万円に拡げて最終的に選定した。対象期間は、平成31年1月1日～令和元年11月30日。

6. 委員会による意見まとめ

各委員から個別に出た意見を踏まえ、次年度契約の際は、より適切な対応をお願いすることとし、全体としては問題なく処理されている。

7. 委員からの質問・意見、それに対する回答等

【Q】、経理課担当者回答を【A】と表記する。）

**審議事項1 競争性のない随意契約における契約事由の妥当性について**

対象契約件名：2019年度知的財産マネジメント支援業務委託

※当契約では、業者からの参考見積書の金額を予定価格の算出根拠とした。

【Q】前年度の業務実績はあるのか

【A】前年度11月から翌年3月までの実績があるが、当契約の依頼する業務内容より少ない業務内容である。

【Q】月2回に大学に来る以外に知財申請の際のサポートを行っている実績データはあるか。

- 【A】ここに持参していないが、昨年の契約書類綴りにある。
- 【Q】前年実績をもとに予定価格は妥当であると判断したのか。
- 【A】依頼業務内容が多少異なるため単価は、前年より上がっているが大幅な上昇ではなかったため、妥当だと判断した。
- 【Q】他大学の平成27年度の見積書が契約実績資料として添付されているが参考にしなかったのか。
- 【A】当該大学と本学の知財件数や業務内容が異なるため算出根拠には使用せず、参考資料として添付した。
- 【Q】他大学と本学の業務内容等の違いの比較を示した上で、この金額が妥当であると説明した方がわかりやすいのではないかと。過去に同一業者に業務依頼実績があり、金額が異なれば、なぜ異なるかの説明が必要であり、それが判断要素となるので、そのような資料を添付するべきである。
- 【A】契約相手方に単価の根拠資料を求めたが得られなかったこと、提示された単価が他大学実績より、安い金額だったことから提示額を妥当であるとした。
- 【Q】次年度以降は、判断の妥当性を示すため、本学の仕様との比較等により、金額を裏付けるデータがやはり必要ではないか。
- 【Q】同種業務提供する他業者はないのか。
- 【A】大学・官庁を含めた多くの機関が発明協会を利用しているが、他業者が見つからない業種であるため、契約相手方からの提案を受け入れざるを得ない状況である。
- 【Q】全国的に展開している業者があるなら、その実績データを活用した方がよい。

## 審議事項2 競争入札のうち一者応札であった入札の競争性確保の妥当性について

対象契約件名： 室蘭工業大学明徳寮、明凜館及び大学会館管理業務 一式

- 【Q】落札者以外の業者が入札に参加したことはあるのか。
- 【A】市内のビル管理業者が参加したことがあるが、落札以降は応募しなくなった。
- 【Q】落札者の団体名から当業務を行うことは考えにくいだが、そのような機能もあるのか。また、再委託しているということはないか。
- 【A】落札者の団体は、基本的に不動産賃貸も行っており、管理業務にはその職員を従事させている。
- 【Q】契約額は、前年と同じか。
- 【A】消費税分のみ10月から値上げになっている。
- 【Q】公募しても毎回1社応札になっている契約案件は、他にもあるのか。
- 【A】数件ある。管理業務は、この地域に住んでいないとできない、地域性の高い業務である。
- 【Q】そのような地域性に左右される業種は、どこにでもあると思うが、その金額の妥当性について他大学ではどのように検証しているのか。
- 【A】本学も含め、管理人、請負業種では、賃金から積算することが多く「積算資料」(経済調査会)のデータによる積算と比較し、極端な違いがなければ妥当であると判断している。

以上の審議を終えて閉会した。